

2025 年 4 月 7 日

なかのアセットマネジメント株式会社

## 4 月に入ってからの世界の株式市場の調整について

### なかの世界成長ファンド運用者からのメッセージ

アメリカの相互関税の発表をきっかけに株価が大きく下落しています。今回の株価下落は二つの視点(経済的懸念と株式市場の混乱)があると思います。第一の経済的懸念とは、関税はアメリカの抱える問題を解決せず、貿易戦争を巻き起こすのではないかという懸念です。トランプ大統領は「世の中で最も美しい言葉は関税」と話すほど関税政策を好みます。トランプ大統領は 4 月 2 日、米国に輸入される世界の大部分の国の製品に 10%以上の基本関税をかけ、主要貿易国には国別の相互関税(10%プラスアルファ)を課す計画を発表しました。欧州連合(EU)製品に対する関税は 20%に決まりました。欧州や中国は報復関税で対抗する構えで、世界経済全体に対して良くない結果を招くのではないかと懸念されます。

第二に、株式市場の混乱です。株式市場は将来の見通しが悪くなると下落する傾向があります。これは 2020 年のコロナ禍の時にも同じことが起きました。株価は MSCI ACWI で見て 2020 年 2 月から 3 月にかけて一時 34%も下落しました。しかし、このような「何が起こるかわからない」ことに起因する混乱は時間とともに収束するものです。2020 年も 3 月に底をつけた後に、世界株価は上昇に転じて結局 2020 年は前年比プラスとなりました。

2025 年 4 月は記憶に残る月となりそうです。それは、米国が今までにあまり経験のない経済的・政治的大転換を決断したためです。例えていうならば、1985 年のプラザ合意のような意味合いがあると思います。1985 年当時は米国経済が大幅な国際収支の赤字に耐えきれず、先進 5 か国(G5)主に日本の対米貿易黒字の削減の合意がなされました。さらに遡れば、1971 年の金とドルの兌換を停止したニクソンショックなどがありました。

このような大きな歴史の変化点を通過しながら、世界経済は成長を続けてきたのです。なかのアセットマネジメントの運用陣は、優れたビジネスモデルを持つ企業はこれからも成長を続けると考えています。それは、新興国を中心としたまだ見ぬ新しい需要、技術、企業経営が価値を生み続けると信じているためです。しかし、人は予想していないことに対してはショックを受け動揺するものです。足元の株価の大幅下落は、そうした状況を反映していると思います。と同時に、人は新しい状況に

慣れてゆくとも考えています。株式市場も時間の経過とともに、「新しい米国」に慣れてゆくでしょう。そのため、なかの世界成長ファンドは全体の投資戦略としてファンドの株式組入率をやや引き上げています。足元の動揺を冷静に判断し、長期目線での投資を続けてゆきたいと考えております。

運用副部長兼シニアポートフォリオマネジャー 居林 通

以上

#### 【ご留意事項】

この資料は情報提供を目的として、なかのアセットマネジメント株式会社によって作成されたものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。

また、投資信託は銘柄ごとに設定された信託報酬等の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

#### 【投資信託に関するリスクについて】

##### 基準価額の変動要因

###### なかの日本成長ファンド

- ・ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。主な基準価額の変動要因は「価格変動リスク」「信用リスク」「流動性リスク」「集中投資リスク」などがあります。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ・信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。

###### なかの世界成長ファンド

- ・ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。主な基準価額の変動要因は「価格変動リスク」「信用リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」「流動性リスク」などがあります。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ・信託財産に生じた利益及び損失は全て投資者の皆さまに帰属します。

#### 投資信託に関する費用について

##### 投資者が直接的に負担する費用

###### なかの日本成長ファンド

- ・購入時手数料：ありません
- ・信託財産留保額：ありません

###### なかの世界成長ファンド

- ・購入時手数料：ありません
- ・信託財産留保額：ありません

##### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- ・運用管理費用(信託報酬)：

###### なかの日本成長ファンド

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して年率 1.1%(税抜き 1.0%)を乗じて得た額とします。

運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の 6 ヶ月終了日及び毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

なかの世界成長ファンド

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して、年率 0.605% (税抜 0.55%) を乗じて得た額とします。

運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の 6 ヶ月終了日及び毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。

当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年率 1.3% ± 0.2% 程度 (税込) となります。

商号：なかのアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 3406 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会